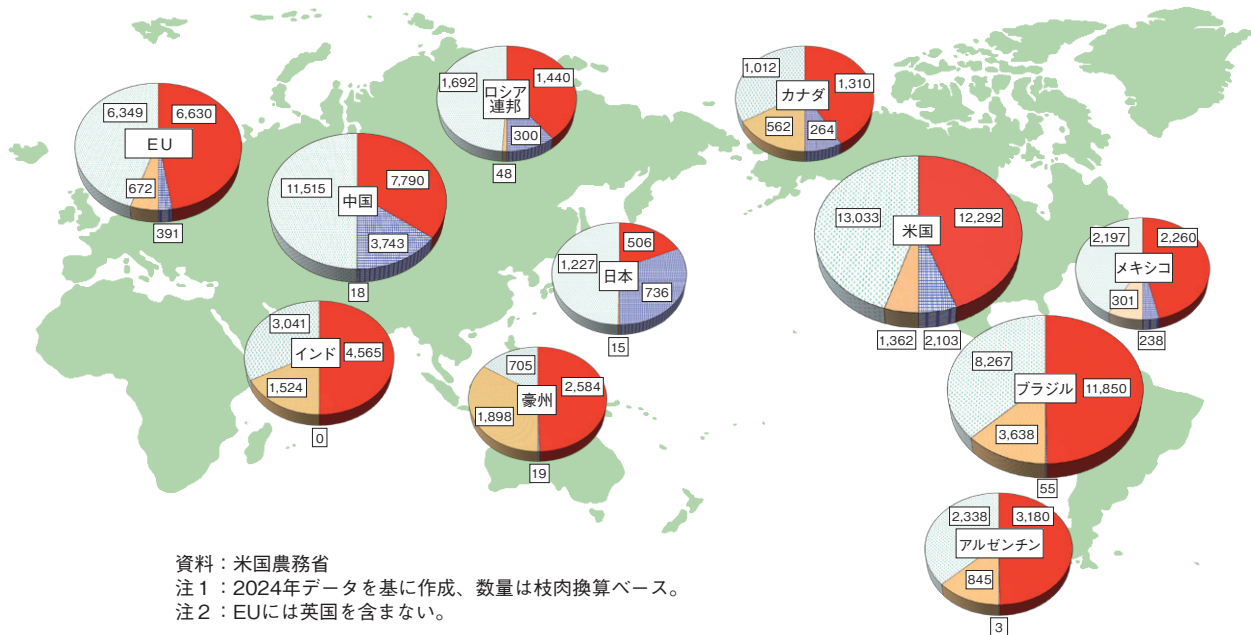


絵で見る世界の畜産物需給

牛 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2024年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。

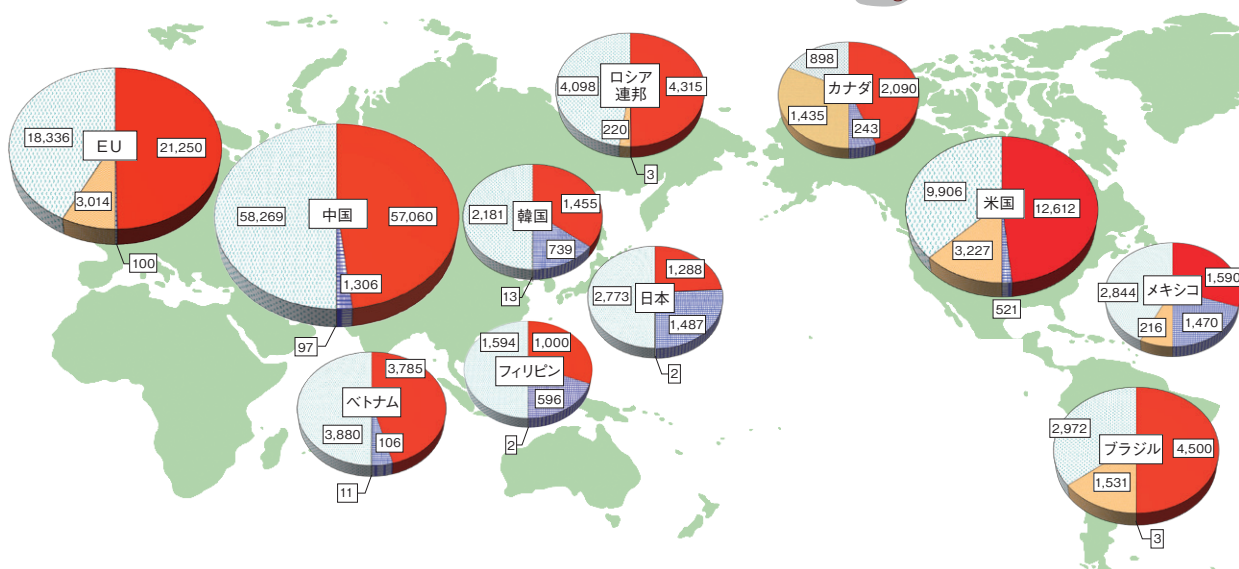
注2：EUには英国を含まない。

2024年の世界の牛肉生産量は、7833万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2025年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（1229万トン）、EU（663万トン）などの先進国のほかに、ブラジル（1185万トン）、中国（779万トン）、インド（457万トン、水牛肉を含む）、アルゼンチン（318万トン）といった新興国である。牛肉消費量は、米国が世界最大の消費国であるが、中国の消費も増加している。牛肉輸出量は、ブラジル（364万トン）、豪州（190万トン）、インド（152万トン）、米国（136万トン）の順に多い。また、日本への輸出量が多い米国や豪州、カナダ（56万トン）の3カ国で全輸出量の約3割を占める。

豚 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2024年データを基に作成、数量は枝肉換算ベース。

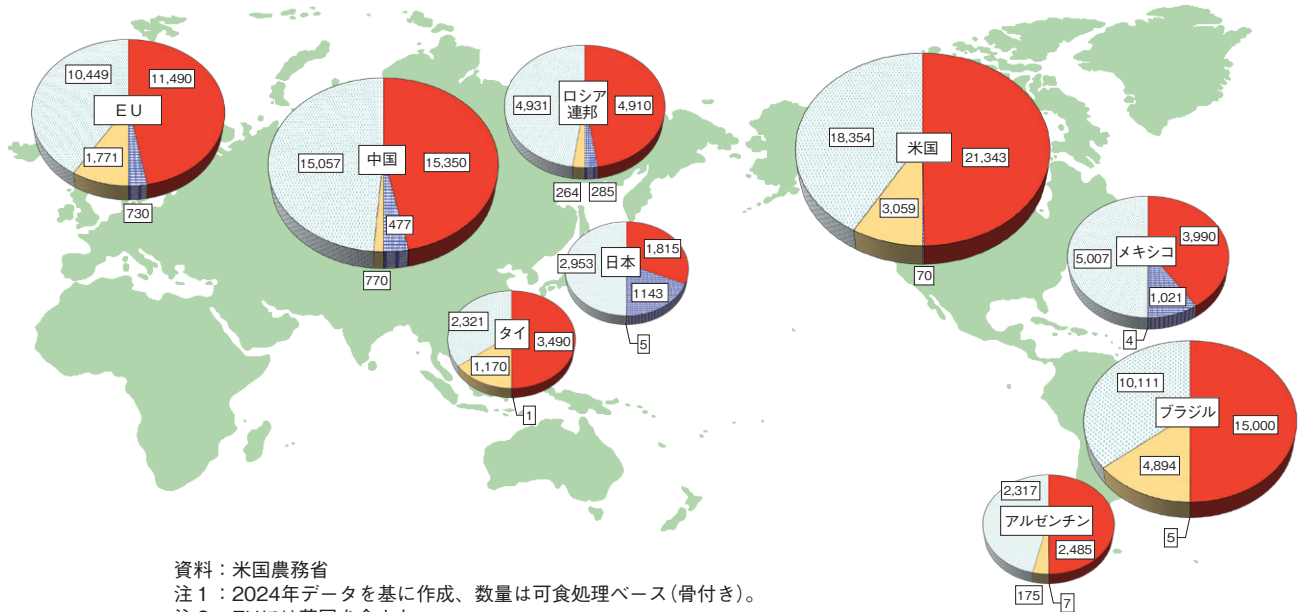
注2：EUには英国を含まない。

2024年の世界の豚肉生産量は、1億2507万トン（枝肉換算ベース、FAO Food Outlook、2025年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、中国（5706万トン）であり、これにEU（2125万トン）や米国（1261万トン）などが続く。EUは生産量に占める輸出量の割合が高いが、中国国内の需給緩和を背景に輸出量を減少させている。その他の国では、経済成長に伴いブラジル（450万トン）、ロシア（432万トン）、メキシコ（159万トン）の生産量が増加している。中国以外のアジア地域では、ベトナム、韓国、フィリピンなどの生産量や消費量が多い。日本は生産量が129万トンであるが、消費量のおよそ半分の149万トンを入力している。

鶏 肉



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：米国農務省

注1：2024年データを基に作成、数量は可食処理ベース（骨付き）。

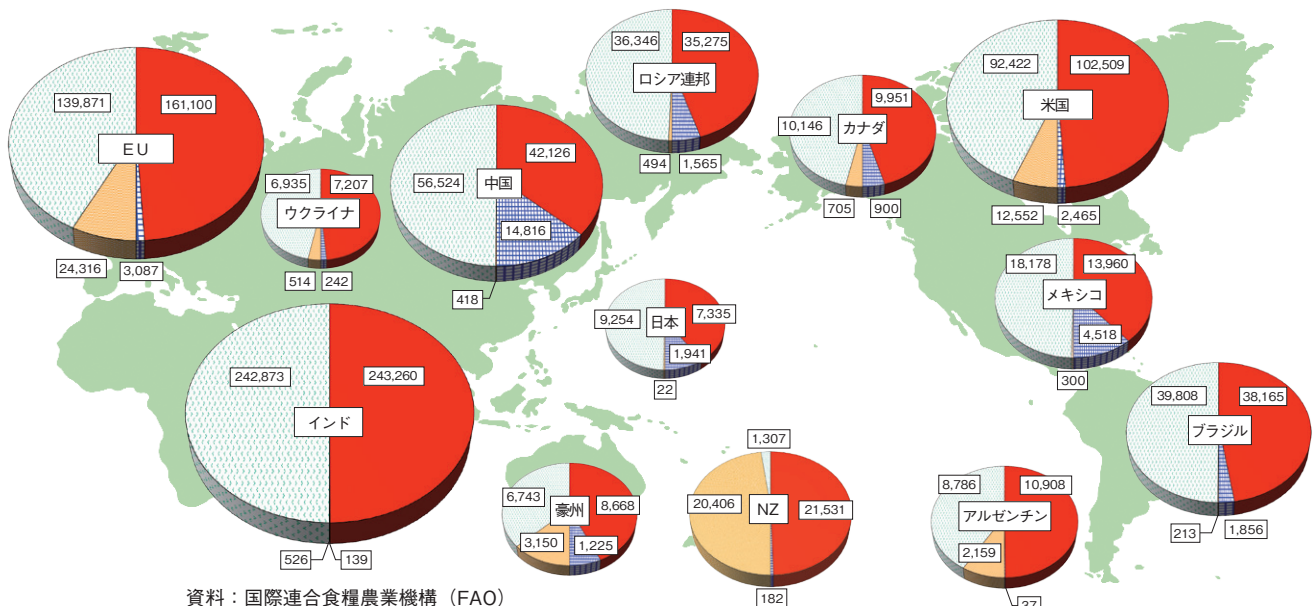
注2：EUには英国を含まない。

2024年の世界の鶏肉生産量は、1億5000万トン（骨付き換算ベース。FAO Food Outlook、2025年11月）と見込まれる。主要生産国（国別データは米国農務省）は、米国（2134万トン）であり、これに中国（1535万トン）、ブラジル（1500万トン）が続く。このほか、EU（1149万トン）、メキシコ（399万トン）、タイ（349万トン）などで増加している。鶏肉消費量は、最大の消費国である米国が増加したほか、EU（1045万トン）、日本（295万トン）なども増加している。鶏肉輸出量は、ブラジル（489万トン）、米国（306万トン）、EU（177万トン）、タイ（117万トン）の順に多く、ブラジルと米国で世界の輸出量の約5割（53%）を占める。

生 乳



消費量(千トン) 生産量(千トン)
輸出量(千トン) 輸入量(千トン)



資料：国際連合食糧農業機構（FAO）

注1：2024年データを基に作成、数量は水牛乳を含む。

注2：輸入量および輸出量は、各国・地域の製品ベースの数量にFAOが定める係数を乗じて算出している。

注3：EUに英国は含まない。

2024年の世界の生乳生産量（水牛乳含む）は、9億7897万トン（FAO Food Outlook、2025年11月）と見込まれる。主要生産国は、インド（2億4326万トン）、EU（1億6110万トン）、米国（1億251万トン）であり、これに中国（4213万トン）、ブラジル（3817万トン）が続く。最近では、アルゼンチン、インドおよびニュージーランドなどでの生乳生産量の増加が予測されている。2024年の貿易量（輸出量・生乳換算）は8784万トンと見込まれ、その貿易率は9.0%と穀物や砂糖、牛肉、家きん肉などと比べて低い。主要輸出国（地域）は、EU、ニュージーランド、米国、豪州などである。